
平成24年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成24年3月7日

質問者（質問順）

- 1 藤崎 浩太郎 委員 (みんな)
- 2 白井 正子 委員 (共産党)
- 3 高橋 徳美 委員 (自民党)
- 4 黒川 勝 委員 (自民党)
- 5 大山 しょうじ 委員 (民主党)
- 6 五十嵐 節馬 委員 (民主党)
- 7 行田 朝仁 委員 (公明党)
- 8 丸岡 いつこ 委員 (神奈ネ)

健康福祉局

局 別 審 査

1 藤 崎 浩太郎 委員（みんな）

1 地域におけるケアについて

（1）福祉人材の就業支援について

ア 福祉人材の就業支援事業についての本市の考えと取組状況を伺いたい。

イ 就職支援サイトについて、経済局との連携による窓口や検索ページの一本化など改善・工夫の余地があると思うが、どうか。

ウ 介護の仕事のイメージアップなど中高生向けの事業は、就業支援としての視点だけでなく、高齢者・障害者ケアの理解を深め、身近なものにしていく意図も含めて取り組む必要があると思うが、どうか。

エ 小学生にも高齢者・障害者に理解を深める機会を設けることについて、どのように考えるか伺いたい。

（2）ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進、災害時要援護者支援について

ア ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業の概要と取組状況について伺いたい。

イ 災害時要援護者支援事業の概要と取組状況について伺いたい。

ウ 災害時要援護者支援事業において、自治会町内会等とより柔軟に個人情報共有することについての本市の考えと現在の取組状況について伺いたい。

（3）介護支援ボランティアポイントについて

ア 介護支援ボランティア事業の概要及び登録人数、発行ポイントの数などの活動状況について伺いたい。

イ 現在までの実施状況についての評価を伺いたい。

ウ ボランティアポイントを、高齢者ケア以外の領域に展開したり、寄付先を拡大することで、地域を活性化することができると考えるが、今後の方針を伺いたい。

（4）地域ケアプラザについて

ア 地域ケアプラザ未整備地区では、地域の見守りや相談支援などをどのよう

に行っているか伺いたい。

イ 地域包括支援センター機能について、既存施設を活用した展開をしていくなど柔軟な取組も重要と考えるが、今後の整備方針について伺いたい。

ウ 地域の信頼関係やネットワークの醸成、地域力の向上といった視点から、本市が果たす役割、認識を伺いたい。

(要望) 行政主体ではなく、地域住民主体となるような取組を要望します。

2 自殺とうつ対策について

(1) 本市の自殺者の推移と現在の取組状況について伺いたい。

(2) うつ病など精神疾患をケアするための本市の取組について、現状と課題を伺いたい。

(3) 本市のゲートキーパー事業について、取組状況、課題、今後の方針について伺いたい。

(4) 横浜市職員のゲートキーパー数とその率、今後の目標について伺いたい。

(5) 自殺対策事業の認知度を高め、利用者の利便性を向上させることについて、本市の考えと今後の取組を伺いたい。

3 生活保護について

(1) 生活保護受給者の増加に対応した、24年度の本市の取組について伺いたい。

(2) 母子世帯の受給期間が長期化傾向にある要因について、見解を伺いたい。

(3) 就労していない母子世帯への支援について、どのように取り組んでいるのか伺いたい。

(4) 母子世帯の就労から自立へ向けての課題と本市の取組について伺いたい。

(5) 学習支援事業について、これまでの取組の成果と評価について伺いたい。

(6) 学習支援事業について、今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

(要望) 学習機会の提供と進学率の向上、意欲向上のための取組を展開していくことを要望します。

4 よこはま保健医療プランについて

- (1) よこはま保健医療プランの策定プロセスについて伺いたい。
- (2) よこはま保健医療プランが市民に与える影響はどのようなものか伺いたい。
- (3) パブリックコメントの活用に関する現状と課題について、本市の認識を伺いたい。

5 医療政策を担う人材育成について

- (1) どのような課題認識のもと、どのような人材を育成する方針か伺いたい。
 - (2) 育成対象者はどのような人で、具体的にどのような方法で育成するのか伺いたい。
 - (3) 育成した人材を有効活用するためには計画的な異動が必要と考えるが、本市の方針を伺いたい。
- (要望) 本市全体の取組としての人材育成・活用が行われることを要望します。

6 事業の効率化について

(1) 産科あんしん電話について

- ア 電話の問い合わせ件数とホームページのアクセス数について伺いたい。
- イ 電話の受付内容と対応状況について伺いたい。
- ウ 産科あんしん電話のあり方、今後の方針を伺いたい。

(2) 国民健康保険（カレンダー配布事業）について

- ア 国民健康保険事業の財政状況について伺いたい。
- イ 今後の収納率向上に向けた取組について伺いたい。
- ウ カレンダーを無料配布する目的について伺いたい。
- エ カレンダー配布事業の見直しに向けた今後の取組について伺いたい。

- (要望) 経費節減を行いながらも、重要な命にかかわる事業を行っていることから前向きに取り組んでいくことを要望します。

2 白井正子委員（共産党）

1 国民健康保険料算定方法の旧ただし書への移行について

- (1) 国民健康保険法施行令の改正による国民健康保険料算定方法の旧ただし書方式への移行の概要について伺いたい。
- (2) 国保法施行令は、基準の政令であり法的強制力はなく、旧ただし書方式に移行すべきではないと考えるが、どうか。
- (3) 東京都や川崎市における激変緩和策の内容とその把握状況について伺いたい。
- (4) 旧ただし書方式への移行による各世帯への影響について伺いたい。
- (5) 低所得者、障害者への独自の緩和策として、均等割りの縮減、独自の減額率設定など恒久的な救済措置が必要であると考えますが、どうか。
- (6) 6月の24年度保険料額通知時に制度変更とともに救済対策についてお知らせすべきと考えるが、どうか。

2 精神障害者の通院医療費について

- (1) 現在の精神障害者の医療費負担について、どのように認識しているのか伺いたい。
- (2) 県の重度障害者医療費助成制度の対象が精神障害者へ適用拡大されることによる本市への影響について伺いたい。
- (3) 県と県下の自治体との協議の状況とスケジュールについて伺いたい。
- (要望) 25年4月実施を待たずに24年度中に補正予算を組んで実施すること、本市独自に2級まで対象を拡大することを要望します。

3 分娩取扱施設・病床の確保について

- (1) 栄区との区局連携事業である「産科病床設置促進事業」の概要、実施の背景、予算額について伺いたい。

3 高橋徳美委員（自民党）

1 生活保護の不正受給対策と自立支援について

- (1) 不正受給対策の強化のために、具体的にどのような取組をしていくのか伺いたい。
 - (2) 警察との連携強化について、現在までの取組と今後の方針について伺いたい。
 - (3) 警察OBの主な業務は何か。また不正受給対策として、どのような効果が見込まれるのか伺いたい。
 - (4) 本市の就労支援の取組の成果について伺いたい。
 - (5) 今後の就労支援策の展開について、どのように考えているのか伺いたい。
- (要望) 真に保護を必要とする方には保護を、働ける方には就労支援などの支援を、悪質な不正受給者には厳格な対応をとるなど、生活保護の適正な実施を要望します。

2 認知症対策事業について

- (1) 認知症の人と家族を支えるための課題について伺いたい。
 - (2) 介護マークの普及についてどのような取組をしているか伺いたい。
 - (3) 認知症の人と家族に対する支援として、どのような取組をしているのか伺いたい。
 - (4) 認知症の人の地域における医療の支援体制の課題について伺いたい。
 - (5) 認知症疾患医療センターの設置はどのような効果が期待できるか伺いたい。
 - (6) 認知症の人に対する地域への普及啓発について伺いたい。
- (要望) 地域の支えあいとともに、認知症施策の充実を要望します。

3 市民後見人養成・活動支援事業について

- (1) なぜ、市民後見人が必要なのか。また、市民後見人養成に取り組む理由は何か、伺いたい。
- (2) どのような方を市民後見人養成研修の対象としていくのか伺いたい。

(3) 市民後見人養成の方法及び内容について伺いたい。

(4) 市民後見人養成を通じて、今後、地域における権利擁護をどのように進めていくのか伺いたい。

(要望) ご本人の意思を尊重した、その人らしい生活を支える新しい絆が作られていくことを期待し、今後一層の取組を要望します。

4 発達障害者支援について

(1) 発達障害のある方を支援するため、どのような事業に取り組んでいるのか伺いたい。

(2) 就労支援のためのモデル事業の内容について伺いたい。

(3) モデル事業の実施により得られた効果について伺いたい。

(4) サポートホーム事業の具体的な取組内容について伺いたい。

(5) サポートホーム事業の実施により期待される効果について伺いたい。

(6) 発達障害のある方の支援において、他局とどのように連携していくのか伺いたい。

(要望) 就労を希望する発達障害の方へ更なる就労支援を行っていくこと、また就労先の企業を探す際には、地元と連携して取り組んでいくことを要望します。

(要望) 発達障害支援の事業に対するニーズは増えると思われることから、さらなる事業の推進を要望します。

5 産科拠点病院について

(1) 3病院を産科拠点病院とした理由は何か伺いたい。

(2) 産科医師の確保に向けた取組について伺いたい。

(3) 今後のスケジュールについて伺いたい。

6 看護人材の確保について

(1) 看護職復職支援事業の事業概要及び復職に繋がった実績について伺いたい。

(2) 看護職復職支援事業の評価について伺いたい。

(3) 就業支援情報整備事業の具体的な内容について伺いたい。

- (4) 看護師を養成するには一人当たりどの位の費用がかかるのか、また、その費用のうち、市の補助の割合はどの程度か、伺いたい。
- (5) 今後の看護人材確保の強化に向けた方向性について伺いたい。
- (要望) 今後も、積極的な事業実施に努めるとともに、本市における看護人材不足の解消に向けた、具体的な施策を展開していくよう要望します。

1 後期高齢者医療・国民健康保険・介護保険について

- (1) 後期高齢者医療、国民健康保険、介護保険の事業費の推移と本市負担額について伺いたい。
- (2) 事業費の伸びについての見解を伺いたい。
- (3) 特定健康診査受診率の推移について伺いたい。

2 健康な体づくりについて

- (1) 健康な体づくりを行うための地域での取組について伺いたい。
- (2) 健康な体づくりを強化するための地域での今後の取組について伺いたい。
- (3) 食育の取組を進めるための、市内での連携体制について伺いたい。
- (4) 企業や関係団体等で構成する推進組織「横浜市食育フォーラム」での今後の取組内容について伺いたい。
- (5) 歯周疾患検診の内容と受診率について伺いたい。
- (6) 歯科保健、口腔ケアの啓発における、歯科医療機関との協力について伺いたい。
- (7) 今後の介護予防事業の転換について伺いたい。

3 がん検診について

- (1) 本市の受診率と他都市との比較について伺いたい。
 - (2) 本市の受診率が低迷している原因について伺いたい。
 - (3) 本市より受診率が高い政令市の受診率向上策について伺いたい。
 - (4) 他都市の成功例を参考とした企業や民間団体との連携策について伺いたい。
- (要望) 受診率50%を目指してしっかり取り組んでいくことと、がんにかかる医療費の縮減に取り組んでいくことを要望します。

4 地域医療連携について

- (1) 地域医療支援病院の役割について伺いたい。
- (2) 地域医療連携を円滑に進める上での課題について伺いたい。
- (3) 地域医療連携推進に向けた考え方について伺いたい。

5 がん診療について

- (1) 緩和ケアの現状や整備状況に関する他都市比較について伺いたい。
- (2) 本市の緩和ケアにおける課題について伺いたい。
- (要望) 患者の尊厳やQOLを考えた緩和ケアの充実を図るよう要望します。

6 24時間の介護保険サービスについて

- (1) 特別養護老人ホームの医療対応の必要な入所者の割合と医療対応の状況について伺いたい。
- (2) 医療対応が必要な入所待ち者の状況について伺いたい。
- (3) 医療対応を促進するための取組について伺いたい。
- (4) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の概要と特徴について伺いたい。
- (5) 事業の展開について伺いたい。
- (6) 事業に対する評価について伺いたい。

7 脳血管疾患救急医療体制について

- (1) 体制参加病院の診療体制の違いについて伺いたい。
- (2) 体制開始後のt-PA投与による治療実績、結果について伺いたい。
- (3) ホームページでの公表は、病院ごとに個別で公表しているのか、全体として公表しているのか、伺いたい。
- (4) 参加病院ごとの診療体制や治療実績の情報開示について伺いたい。
- (5) 治療実績の公表については、病院ごとになるのか伺いたい。

8 保健医療施策の充実について

- (1) 福祉と連携した将来の保健医療施策の充実について伺いたい。

5 大 山 しょうじ 委員（民主党）

1 災害時の医療体制について

- (1) 22年度決算特別委員会以降の検討状況について伺いたい。
- (2) 地域医療の主体者である市医師会との協議はどうなっているのか伺いたい。
- (3) 独自の見直し検討を進めている区医師会との考え方を、どのように整合させていくのか伺いたい。
- (4) 災害時の休日急患診療所の活用方法について伺いたい。
- (5) 老朽化が進む休日急患診療所の建替計画と今後の予定について伺いたい。

2 救急搬送受入病院連携支援モデル事業について

- (1) 救急搬送受入病院連携支援モデル事業の実施状況について伺いたい。
- (2) モデル事業の実績について伺いたい。
- (3) 現段階でのモデル事業についての評価を伺いたい。
- (4) 24年度のモデル事業の取組について伺いたい。

3 生活保護事業について

- (1) 生活保護受給者の就労支援にあたり、ハローワークとの連携はどうなっているのか伺いたい。
- (2) 効率的・効果的に就労支援を行うために、ハローワークの機能を区役所に設置することを国に要望すべきと考えるが、どうか。
- (3) 年金相談事業の実績と24年度の事業展開について伺いたい。
- (4) 生活保護費のうちの医療扶助費の金額と割合について伺いたい。
- (5) 医療扶助の適正化に向けて、どのように取り組むのか伺いたい。
- (6) ジェネリック医薬品の利用促進に向けての取組について伺いたい。

4 高齢者の住まい・生活支援事業について

- (1) 高齢者向け住まいに関して、どのように取り組んでいるのか伺いたい。

- (2) 鶴見会館跡地で予定している高齢者向け住まいの特徴について伺いたい。
- (3) 平均的な厚生年金を受給する方を対象として事業を考えた理由を伺いたい。
- (4) 高齢者向け住まいの今後の取組について伺いたい。

5 第7回食育推進全国大会・横浜大会について

- (1) 大会の開催目的について伺いたい。
- (2) ブース出展の応募状況について伺いたい。
- (3) 横浜大会の特色について伺いたい。
- (4) 大会における庁内連携をどのように図っているのか伺いたい。
- (5) 大会開催を今後の食育推進にどのようにつなげていくのか伺いたい。

6 五十嵐 節 馬 委員（民主党）

1 精神科救急基幹病院機能強化事業について

- (1) 本市の精神科救急体制の現状と課題について伺いたい。
- (2) 市内医療機関における精神科救急の受入病床の確保状況について伺いたい。
- (3) 24年度の取組みと想定される効果について伺いたい。

2 自殺対策事業について

- (1) 本市がこれまでに取り組んできた特徴的な事業について伺いたい。
- (2) 本市の自死遺族支援の取組について伺いたい。
- (3) 経済面や法律面などの支援について、関連団体とどのような連携を図っているのか伺いたい。
- (4) 区で自殺対策の取組を広げていくための視点や姿勢について伺いたい。
- (5) これからの本市の自殺対策の取組についての考えを伺いたい。

3 生活困窮者の把握について

- (1) 生活に困窮されている方の把握について、取組状況を伺いたい。
- (2) 生活に困窮されている方の把握について、今後の取組を伺いたい。

4 権利擁護事業について

- (1) 23年度の市民後見の検討経過はどのようなものか伺いたい。
- (2) 市民後見推進における横浜の独自性についての考えを伺いたい。
- (3) モデル3区の選定の考え方を伺いたい。
- (4) 市民後見人の活動への支援体制をどのように整備していくのか伺いたい。

5 病院事業会計繰出金について

- (1) 病院事業会計への繰出金を健康福祉局で支出する理由は何か伺いたい。
- (2) 繰出金のうち政策的医療にかかる部分はいくらか伺いたい。

- (3) 政策的医療に関わる健康福祉局における繰出金の考え方を伺いたい。
- (4) 市立病院のあり方の検討について、健康福祉局としてどのように関わっているのか伺いたい。

6 放射線対策・新たな基準値に対応する検査機器整備について

- (1) 放射線に関する健康・食品相談窓口の体制と主な相談内容について伺いたい。
- (2) 23年度の食品の検査状況について伺いたい。
- (3) 新たにどのような検査機器を導入するのか伺いたい。
- (4) 今後、どのような食品に重点を置いて検査を実施するのか伺いたい。

7 行 田 朝 仁 委 員 (公 明 党)

1 重度障害者医療費援助制度について

- (1) 重度障害者医療費助成制度で精神障害者を対象としている県内市町村の状況を伺いたい。
- (2) 本市が県に合わせて精神障害者を対象とした場合に、どれくらいの費用がかかるのか伺いたい。
- (3) 本市での実施に向けた今後の見通しを伺いたい。

2 介護人材の確保について

- (1) 介護人材確保の取組内容について伺いたい。
 - (2) 将来を担う介護職員の確保についての考えと取組について伺いたい。
 - (3) 高齢化社会の課題解決の先頭に立ち、市民生活を守る責任者である当局においては高い意識を持って、具体的な目標を設定し、未来に責任をもつ行政を目指すべきと考えるが、どうか。
 - (4) 勤続5年から7年での表彰について、所見を伺いたい。
 - (5) 介護サービス情報の公表制度の現状と課題について伺いたい。
 - (6) 介護サービス情報の公平・公正な公開と周知を充実させる必要があると考えるが、どうか。
- (要望) 重要な判断材料となる客観情報の提供とともに、利用者本位の介護保険制度を目指し、関係省庁などに改善提案するなど、国の制度をリードする気概をもって、尽力されるよう要望します。

3 介護支援ボランティアポイント事業について

- (1) 登録者数拡大の課題と目標設定について伺いたい。
- (2) 他都市と比較した本市の介護ボランティアの状況について伺いたい。
- (3) 事業を推進していくため、戦略的に実施することが必要と考えるが見解を伺いたい。

(要望) 介護支援ボランティアの拡大について、社会的変化のスピードに遅れることなく、野心的な目標数値をもって取り組んでいくことを要望します。

4 地域包括支援センターの強化について

(1) 相談機能の充実と強化を図るための課題認識について伺いたい。

(2) 機能強化の充実策について伺いたい。

(3) 地域での認知度を更に高める工夫について伺いたい。

5 あんしん電話の充実について

(1) あんしん電話の周知方法について伺いたい。

6 国民健康保険事業について

(1) 本市国民健康保険の医療費の推移はどうか。また、事業運営の課題をどのように考えているのか伺いたい。

(2) 医療費の支出を適正なものにするために、どのような取組を行っているのか伺いたい。

(3) 重複受診が疑われる方に対して、どのような対応を行っているのか伺いたい。

(4) 重複受診対策について、より重点的に取り組んでいくべきと考えるが、どうか。

(要望) 国民健康保険事業の存続に寄与するのであれば、重点的に費用やマンパワーを投入し、様々な角度からの改善・検討を要望します。

7 健康づくりの推進について

(1) 健康横浜21策定から10年間の取組を踏まえた課題と今後の方向性について伺いたい。

8 高齢者の肺炎球菌ワクチン助成について

(1) 費用助成を行う場合の本市負担額の見込と課題について伺いたい。

(要望) 感染症予防、そして医療費抑制の観点からも本市において、一日でも早く、

高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の費用助成を実施するよう要望します。

9 がん検診事業の拡充について

- (1) 個別通知により子宮がん、乳がん検診を受けた受診者の実績並びに大腸がん検診での個別通知の対象となる範囲及び受診者の実績について伺いたい。
- (2) 個別通知をこれまで実施してきたうえでの課題認識について伺いたい。
- (3) 個別の受診勧奨について、今後どのように取り組むのか伺いたい。
- (要望) 受診率の低い検診について、強力に個別の受診勧奨を推進し、受診されていない方への勧奨などについても、今後しっかり実施していくよう要望します。

10 障害者施策の推進について

- (1) 障害者の就労を促進するにあたり、現状の課題認識と民間企業との連携にどのように取り組んでいくのか伺いたい。
- (2) 障害児施設に18歳を超えて入所している方々の今後について、どのように取り組むのか伺いたい。
- (3) 地域で生活する精神障害者をどのように支援していくのか伺いたい。
- (4) 24年度に「認知行動療法」の講演会が予定されているが、認知行動療法の現状とねらいについて伺いたい。
- (5) 高齢者や障害者を地域で支え合うコミュニティの構築について見解を伺いたい。
- (要望) 福祉から就労へと社会的な自立につながる新たな仕組みが構築されるよう要望します。
- (要望) 精神疾患への対策は急務であり、認知行動療法のような新しいことに取り組む姿勢を含め、取組を充実していくことを要望します。
- (要望) 高齢者、障害者、子どもたちを含めてコミュニティ活動に参加し、溶け込んでいくことが、真に望まれる円熟した社会の一步だと思いますので、そのような地域社会を実現するために、中長期的な視野を意識して、他都市の見本となるように進めていくことを要望します。

11 災害時のペットの保護管理について

- (1) 東日本大震災において被災したペットの状況について、また本市が行った対応について伺いたい。
 - (2) 災害時のペット対策を進める上での課題について伺いたい。
 - (3) 本市において把握している現状の推定犬猫頭数と避難所設置場所について伺いたい。
 - (4) 現在のケージの整備状況と今後の対応について伺いたい。
- (要望) 厳しい財政状況ではありますが、出来るだけ早期にケージの備蓄を完了するよう、要望します。
- (要望) 獣医師会や動物愛護団体などとの連携を強化し、避難所整備を含め災害時のペット対策に取り組むことを要望します。

1 障害者の移動支援施策について

- (1) 障害者の移動支援施策について、現状の課題をどのように認識しているのか伺いたい。
- (2) 再構築に向けて、いままでどのような検討をおこなってきたのか伺いたい。
- (3) ガイドヘルプ、ガイドボランティアなどの事業があるが、その課題と見直しの方向性について伺いたい。
- (4) これまでの通学支援の取組状況について伺いたい。
- (5) 通学支援については、どのような見直しを考えているのか伺いたい。
- (6) ガイドボランティア制度では、ニーズの把握とコーディネート機能の充実、ボランティアの育成が重要だが、これらにはどのように取り組んでいくのか伺いたい。
- (7) 移動情報センターについては、25年度までに9区で実施するとのことだが、開設されていない区も含めて早期に相談できる体制を整えるべきだと思うが、考え方について伺いたい。
- (8) 再構築に向けて、今後、当事者や家族の意見の把握をどのように行っていくのか伺いたい。